

A7990 福岡市営1000系・1次車・登場時 6両セット

予価:28,200円(税別)

JANコード:131435 カートン内入数:12

A7993 福岡市営1000N系・初期更新車 6両セット

予価:28,200円(税別)

JANコード:131466 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

1981(昭和56)年7月26日の福岡市営地下鉄1号線開業に併せて登場したのが1000系です。丸みを帯びた車体断面を持つステンレス製車体には玄界灘をイメージした青と白のラインカラーが貼り付けられています。前面は左右非対称の鼻筋の通った形状で、上下2灯の前尾灯を左右の端に配した大胆なデザインは当時の大きな話題となりました。登場当初は前面貫通扉の窓が大型でしたが、増備車の登場に伴って順次小型のものに交換されました。1997(平成9)年からは順次更新工事が行われ、制御装置のVVVFインバータ化や行先表示装置のLED化、前尾灯へのカバーガラス設置などの外観上の変化が生じています。当初はGTO-VVVFインバータが採用されましたが、後年の改造車にはIGBT-VVVFインバータが採用され、さらなる省エネ化・軽量化が図られています。登場以来6両編成16本が1号線(福岡空港～姪浜)・2号線(貝塚～中洲川端)全線と、乗り入れ先のJR筑肥線姪浜～筑前前原間で活躍しています。

商品概要
・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実
・フライホイール付動力ユニット搭載
・ヘッドライト・テールライト点灯。LED使用

ステンレスボディに青と白の帯

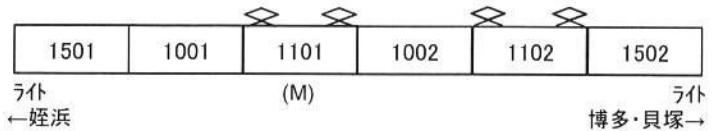


- 登場時。電気子チョップパ制御時代を再現
- 前面非常扉大窓

登場時の姿を製品化!

福岡市交通局商品化許諾済

編成図 A7990



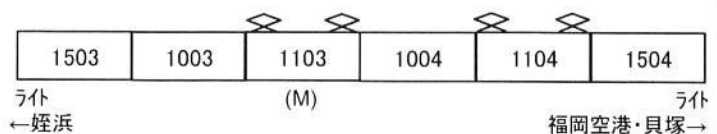
ステンレスボディに青と白の帯

前面窓に曲面ガラスが使われた更新直後の姿!



福岡市交通局商品化許諾済

編成図 A7993



- 1998年頃、前面曲面窓で更新された編成を再現
- GTO-VVVFインバータ化された床下機器を再現

オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・灰:F0002

付属品 シール